

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公開番号】特開 2005-275029 (P2005-275029A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-039
 【出願番号】特願 2004-88715 (P2004-88715)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/08 (2006.01)

G 0 2 B 5/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/08 A

G 0 2 B 5/04 G

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 27 日 (2007.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

銀を材料とする反射膜と、
 この反射膜に積層された酸化クロムを材料とする保護膜と
 を備えていることを特徴とする裏面反射鏡。

【請求項 2】

前記保護膜の膜圧が 10 ~ 300 nmであることを特徴とする請求項 1 記載の裏面反射鏡。

【請求項 3】

前記保護膜の膜圧が 50 ~ 200 nmであることを特徴とする請求項 1 記載の裏面反射鏡。

【請求項 4】

前記反射膜は基板上に積層され、
 前記基板と前記反射膜との間に、第 1 の中間層と第 2 の中間層とが形成されていること
 を特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載の裏面反射鏡。

【請求項 5】

前記基板は、ガラス基板またはプラスチック基板であることを特徴とする請求項 4 記載
 の裏面反射鏡。

【請求項 6】

前記基板と前記基板上に積層された全ての膜とを覆う第 2 の保護膜が形成されているこ
 とを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の裏面反射鏡。

【請求項 7】

前記第 2 の保護膜は、エポキシ樹脂を材料とすることを特徴とする請求項 6 記載の裏面
 反射鏡。

【請求項 8】

前記第 2 の保護膜は、銅を材料とすることを特徴とする請求項 6 記載の裏面反射鏡。

【請求項 9】

前記反射膜は透明なプラスチック基板上に積層され、

このプラスチック基板と前記反射膜との間に、一酸化珪素を材料とする第1の中間層と酸化アルミニウムを材料とする第2の中間層とが形成され、

前記プラスチック基板の上に前記第1の中間層が位置し、前記第1の中間層の上に前記第2の中間層が位置し、前記第2の中間層の上に前記反射膜が位置していることを特徴とする請求項1～8のいずれか1項記載の裏面反射鏡。

【請求項10】

請求項1～9のいずれか1項記載の裏面反射鏡を備えていることを特徴とするペンタプリズム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項4記載の発明は、請求項1～3のいずれか1項記載の裏面反射鏡において、前記反射膜は基板上に積層され、前記基板と前記反射膜との間に、第1の中間層と第2の中間層とが形成されていることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項5記載の発明は、請求項4記載の裏面反射鏡において、前記基板は、ガラス基板またはプラスチック基板であることを特徴とする。

請求項6記載の発明は、請求項4又は5に記載の裏面反射鏡において、前記基板と前記基板上に積層された全ての膜とを覆う第2の保護膜が形成されていることを特徴とする

請求項7記載の発明は、請求項6記載の裏面反射鏡において、前記第2の保護膜は、エポキシ樹脂を材料とすることを特徴とする。

請求項8記載の発明は、請求項6記載の裏面反射鏡において、前記第2の保護膜は、銅を材料とすることを特徴とする。

請求項9記載の発明は、請求項1～8のいずれか1項記載の裏面反射鏡において、前記反射膜は透明なプラスチック基板上に積層され、このプラスチック基板と前記反射膜との間に、一酸化珪素を材料とする第1の中間層と酸化アルミニウムを材料とする第2の中間層とが形成され、前記プラスチック基板の上に前記第1の中間層が位置し、前記第1の中間層の上に前記第2の中間層が位置し、前記第2の中間層の上に前記反射膜が位置していることを特徴とする。

請求項10記載の発明は、請求項1～9のいずれか1項記載の裏面反射鏡を備えていることを特徴とするペンタプリズム。